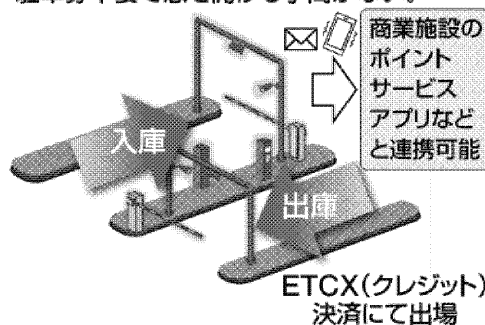


駐車場用ETC決済システム

ETCカード情報を読み取り入場。
入場時間などをメールでスマホに通知。
駐車券不要で窓を開ける手間がない。



三菱プレジジョンの資料を基に作成

三菱プレジジョンが来春 駐車場にETC

施設ゲートに アンテナ後付け

三菱プレジジョン（東京都江東区、藤本聖二社長）は2023年春をめどに、駐車場向けの料金自動收受システム（ETC）を市場投入する。ガソリンスタンドやドライブスルーなど、高速道路以外でETC決済機能を利用できる「ETCXサービス」を活用する。駐車券や現金が不要で、非接触で確実に駐車料金の精算を終えられる。大規模商業施設などのポイントサービスとも連携が可能。23年春の導入開始を目指す。

ウェブサイトで会員登録してETCカード情報を登録すれば、既存のETC車載器とカード登録してETCカードに利用できる。駐車場情報やメールアドレスを登録すれば、既存のETC車載器とカード登録してETCカードに利用できる。駐車場と入場時間、駐車場名、駐車した場所などを記載した入場通知メールを利用者のスマートフォン

トフォンに送信。利用者はメールに記載されたURLから駐車場利用のQRコード（二次元バーコード）を表示して買い物する際に提示し、駐車料金の割引を受ける。駐車場から出る際は車で退場ゲートを通過するだけでETCによる駐車料金の精算を終えられる。

商業施設側は、後付け可能なETCアンテナなどをゲートに設置する必要がある。設備費用は導入環境によって異なるが、数百万円程度とみられる。

商業施設が運用するポイントサービス用のアプリと駐車場向けシステムを連携し、QRコードの代わりにアプリを介して駐車料金の割引などを提供することも可能。施設側は既存のポイントサービス用端末などを利用してサービス提供できる。